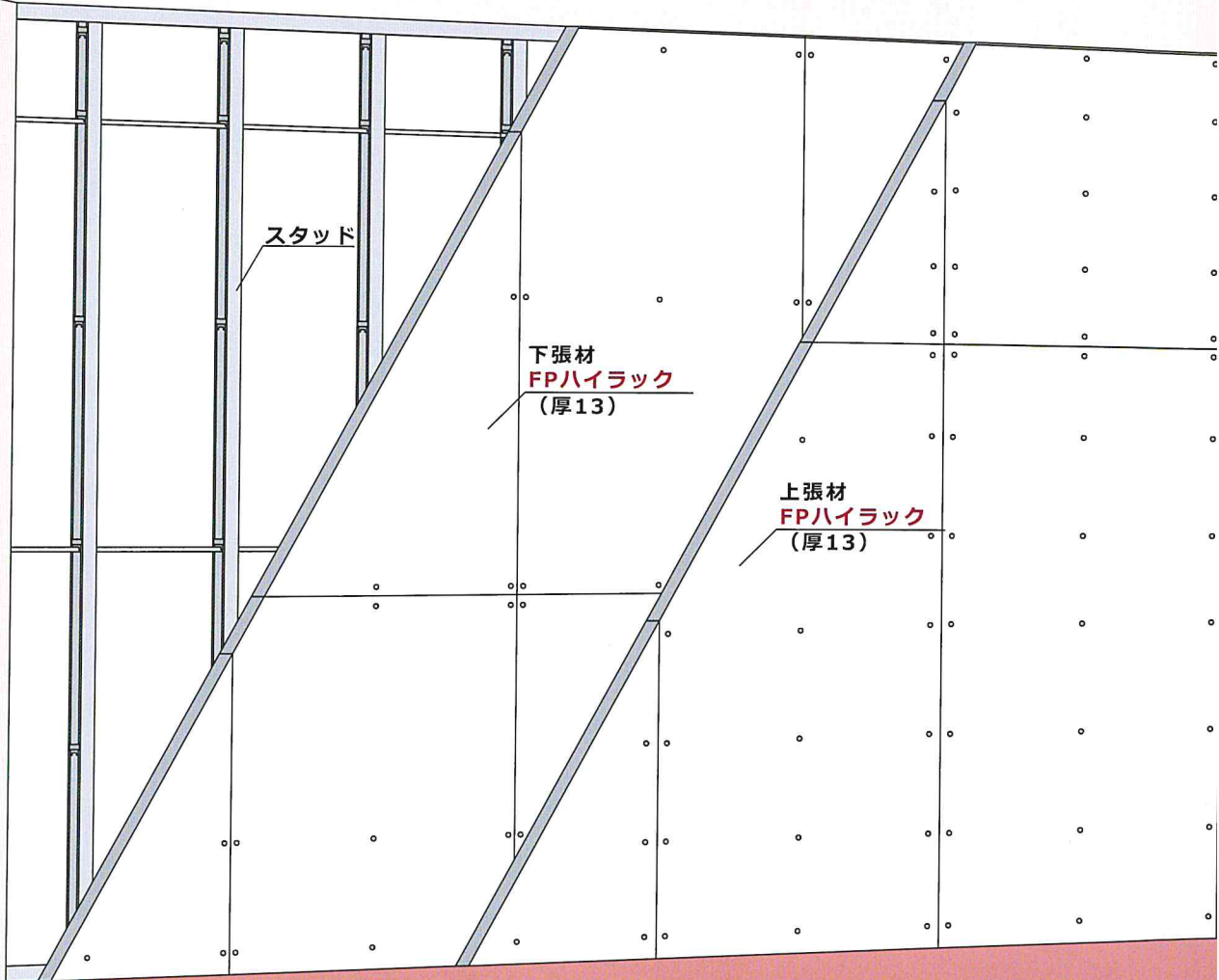


FPハイラック シュウサン 13-13 シュウサン 耐火

~ Fire Proof ~



Strong Simple Protect

強固 × 簡単工法 × 耐火間仕切り壁

新発売の「FPハイラック」を使用
けい酸カルシウム板をビスで留め付けるだけ

使用製品名	FPハイラック (0.8けい酸カルシウム板)
厚さ mm	13±0.5
幅×長さ mm	910×1820

間仕切り壁(非耐力壁) 耐火1時間構造認定番号
FP060NP-0428(1)

※断熱材(グラスウール16K厚25mm以上またはロックウール25K厚25mm以上)を充てんする場合の認定番号はFP060NP-0428(2)となります。

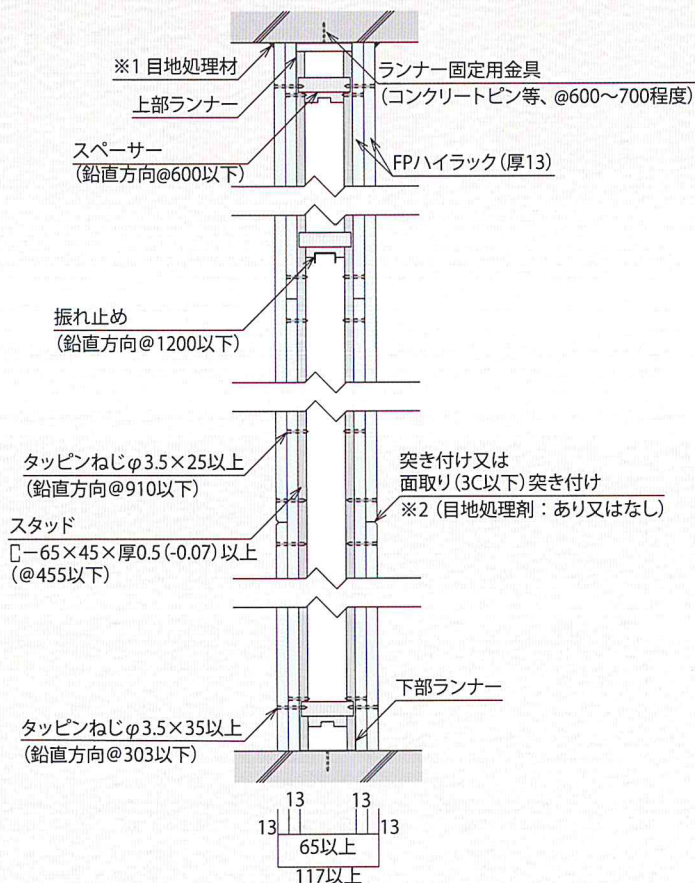
FPハイラック13・13耐火 標準納まり図

単位(mm)

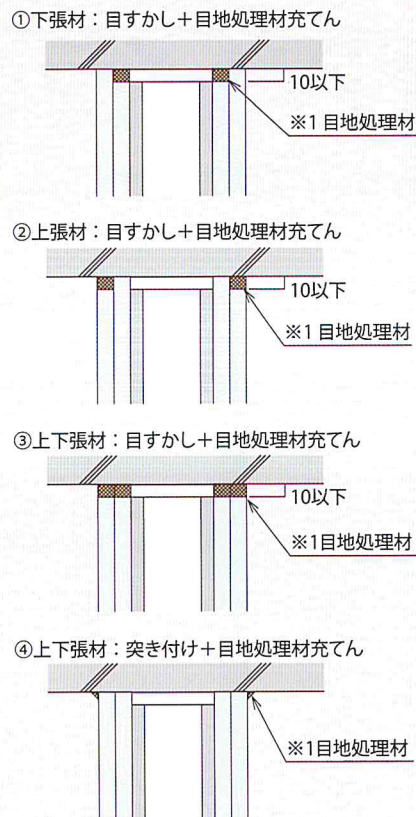
13・13

認定仕様の詳細については、必ず認定書別添をご参照の上、施工をご検討下さい。

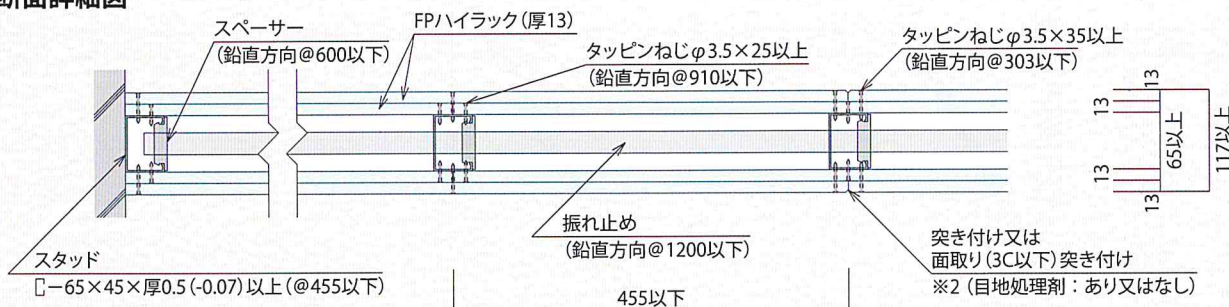
●鉛直断面図(突き付け仕様)



●上端部処理方法①～④



●水平断面詳細図



【壁構成材】

上・下張材	FPハイラック 厚13(NM-2773)
下地仕様	□-65×45×厚0.5(-0.07)以上

※1 (上端部用) 目地処理材種類

- ①シーリング材 (JIS A 5758)アクリル系他
- ②合成エマルジョンパテ (JIS K 5669)
- ③せっこうボード用目地処理材 (JIS A 6914)
- ④無機質系充てん材
- ⑤ロックウール保温板20K (JIS A 9504)
- ⑥ロックウール吸音材20K (JIS A 6301)
- ⑦ロックウールフェルト20K (JIS A 9504)
- (⑤～⑦は下張材：目すかしのみ)

※2 (上張材用) 目地処理材種類

- ①目地処理材なし
- ②合成エマルジョンパテ (JIS K 5669)
- ③せっこうボード用目地処理材 (JIS A 6914)
- ④無機質充てん材

※3 柱、他材取り合い部に隙間が生じた場合は目地処理材(上端部用)を充てんして下さい。上記取り合い部もあらかじめ、上端部処理方法①～④と同様の処理を推奨します。

※4 角スタッド(□-65×45×厚0.5(-0.07))を使用する場合は認定構造上、振れ止め、スペーサーは不要です。

※5 壁高さにより、スタッドの種類を検討してください。

(参考：JIS A 6517では壁高さ4m以下は65、75形、4mを超え4.5m以下は90形、4.5mを超え5m以下は100形となります。)

AAAM 株式会社 エーアンドエー マテリアル

URL: <https://www.aa-material.co.jp>

本社(建材事業本部) 〒230-8511 横浜市鶴見区鶴見中央2-5-5
TEL: 045(503)5771 FAX: 045(503)5774



関東支店
首都圏営業部 TEL: 045(510)0811 北関東営業部 TEL: 048(651)5861

北海道支店 TEL: 011(611)9201 東北支店 TEL: 022(284)4071 中部支店 TEL: 052(218)7731
関西支店 TEL: 06(6311)5255 中四国支店 TEL: 082(291)6511 九州支店 TEL: 092(721)4411